

GIGA スクール構想導入はいじめを増加させたか

1250455 澁谷幸之介

指導教員 草川孝夫

研究背景

SNS が普及した結果、学校におけるいじめが増加したと言われている。2019 年からはじまったGIGAスクール構想では、児童生徒が一人一台端末を利用するようになったため、SNS に触れる機会が増え、さらなるいじめの増加を招いた可能性がある。

研究目的

ICT を学校での学習活動に利用している生徒の方が、利用していない生徒よりも、いじめを受けている生徒の割合が高くなるという仮説が正しいのかを明らかにする。

研究方法

上記の仮説を、PISA2022 の生徒質問調査を用いて、統計的に検証する。

分析結果

仮説は非有意であり、いじめを受けている生徒の割合が、ICT を学校での学習活動に利用している生徒において、利用していない生徒よりも高くなるかはわからないという結果が得られた。

考察・結論

PISA2022 の生徒質問調査を分析した結果、いじめを受けている生徒の割合は、ICT を学校での学習活動に利用している生徒において、利用していない生徒よりも高くなるかはわからない。一方で、2022年のいじめを受けた生徒の割合から2018 年のいじめを受けた生徒の割合を引いたところすべて負になったことから、一人一台端末の利用を始めたこと以外でいじめを減少させる要因がある可能性が示唆された。